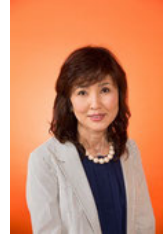


第10回：赤松 邦子 さん（特定非営利活動法人 パパちから応援隊 理事長）

どんなNPOですか？

パパ達に子どもの発達に合った遊び方を伝えたり、夫婦・家族について考える機会を提供するパパと赤ちゃんで参加するセミナーを開催しています。同時進行のママ達のおしゃべり会も好評です。子育ては大変ですが、親自身が楽しむこともできます。親は最初から完璧ではありません。親同士の交流、共感を大切にしながら「親育ち」に取り組んでいます。



起業してみてどうでしたか？

2007年度に県内の他の子育て支援者とともに父親支援のグループを作りました。2013年2月、ならソーシャルビジネスコンテストに入賞したことで、自分達の取組みがソーシャルビジネスであることを自覚し、NPO法人を設立しました。企業との連携など活動の幅を広げやすくなり、また、様々な本業を持つ会員達のスキルを活かした活動も検討するようになりました。

起業時、重要だった課題は？

起業に伴う各種手続き、事業実施先の確保、資金調達、事業戦略、人材の確保です。



課題はその後、どうなりましたか？

起業に伴う各種手続きは、奈良県の協働推進課と奈良NPOセンターに丁寧に支援していただき、会員達で作業分担して進めました。事業実施先（行政や企業等の協力先）の確保は、助成金活用以外の方法が課題で、現在も取り組み中です。資金調達では、NPO法人化準備中に生命保険会社の表彰金を受賞できたことは幸運でした。会員募集が課題ですが、今までの事業で活動を知ってくださった方々が賛助会員になってくださいました。今後も継続して取り組みます。事業戦略は、独自の「親育ちプログラム」の開発が課題で、親たちのニーズと社会的課題を取り入れながら現在も構築中です。人材の確保は、NPO法人化に際して、任意団体時代からのメンバー一人ひとりに気持ちを聞き、続けるかどうかを選んでもらいました。現場で活動できる人達が残ってくださり、とてもありがたかったです。

起業時、役に立った相談・支援機関は？

奈良 NPO センターです。
ならソーシャルビジネスコンテストや研修会、助成金などの情報収集もできます。

起業前の経験は活きていますか？

育児中に、幼稚園勤務時代の知識やスキルを活かして、週 1 回、近所のママ達と育児サークルを立ち上げました。
やがてパパ達も巻き込んで家族ぐるみのお付き合いになり子育てを楽しみました。
1995 年頃、育児ママの孤立化や公園デビューの悩みなどが社会問題になったことから、行政の育児ボランティアをし、以来 20 年近く親育ちに関わってきました。
これらの経験から学んだことは全て起業後の活動の原点であり支えになっています。

今後の抱負は？

パパ達だけでなく、新米ママ向けのプログラムも実施していきたいと思います。
初めての子育てで赤ちゃんのことが分からず戸惑っている方も多いと思います。
「親が親として育つ支援」を基本に「夫婦力アップ」「家族力アップ」をめざし、そのことが「子どもの健やかな育ち」を保障するものと信じています。
受講いただいたパパやママの気づきが、明日からの行動変容につながる魅力あるワークショップ型体験学習を広めていきたいです。



企業情報

商号 特定非営利活動法人 パパちから応援隊
業種 生活関連サービス業
起業年 2014 年
企業 HP <http://papachikara.jimdo.com/>
所在地 〒639-1132 奈良県大和郡山市高田町 245 番
連絡先 050-5005-8022 yuima-ru@kcn.jp